

年頭挨拶

令和3年1月
会長 江川 和宏

皆様、新年明けましておめでとうございます。
ご家族の皆様お揃いで良いお年をお迎えのことと存じます。

昨年を振り返ってみますと、米中貿易摩擦の拡大に加え、2019年末に発生したCOVID-19の感染拡大影響により、世界経済は減速を強いられ、我が国も東京オリンピック延期をはじめ経済面、生活様式全てにおいて甚大な影響を受けました。正にコロナ禍の1年間であったと言えます。

鉄鋼業界では、2020年度の国内粗鋼生産量は83百万トと対前年比16%減の見込みとなっており、リーマンショック時を上回る深刻な影響を受けています。

このような業界の需要動向を受け、2020年度の耐火物の生産量も通期で85万ト程度と前年度より約13%減少すると予想されております。

他方、ここ数年来懸案であった耐火物原材料価格の高騰は、中国メーカーの増産、および世界的需要の減少により落ち着きを取り戻した状況にあるようです。

当協会ではCOVID-19感染対策のため、年間3回実施の理事会、総会を书面決議ならびにWeb会議による実施といたしました。

協会会員の皆様におかれましても、テレワークの実施およびWeb会議の導入等、新たな業務スタイルに伴う、実質的な働き方改革や、経費削減等、変容する時代に即した対応を果敢に進めておられるものと拝察いたします。

経営の根幹である、安全について申し上げますと、昨年の労働災害総数は一昨年実績の51件に対し36件と大幅に減少しました。その内訳は、休業災害が同16件に対し11件、不休業災害が同35件に対し25件となっています。

これはひとえに会員皆様の労働安全衛生対策の努力の賜物と感謝申し上げます。

今年も「安全なくして生産なし」を常に念頭に置き、会員各社の総力を結集し、完全無災害の達成を目指してまいりたいと存じます。

昨年10月には、菅内閣所信表明演説において、我が国が2050年にカーボンニュートラルを目指すことが宣言されました。

当協会は会員皆様の共通の課題として、COVID-19感染対策、労働安全衛生対策、優秀な人材の確保、たゆまない技術開発の推進に加え、この環境問題にも力を注いでまいりたいと存じます。

最後になりますが、本年が会員の皆様にとりまして未来に向けた明るい展望を開く充実した1年となりますこと、一日も早くコロナ禍が終息し、皆様とお会いできる日が来ることを祈念し、私の新年の挨拶といたします。

皆様、ご安全に！